

治山施設の維持管理における 効率的な点検方法の構築



中部農林事務所 治山課
技師 大石有美

本県の治山施設の点検

治山パトロール (S63～)
(全国に先駆け、県独自の取組として開始)



治山施設の点検



県民啓蒙を目的とする周知活動

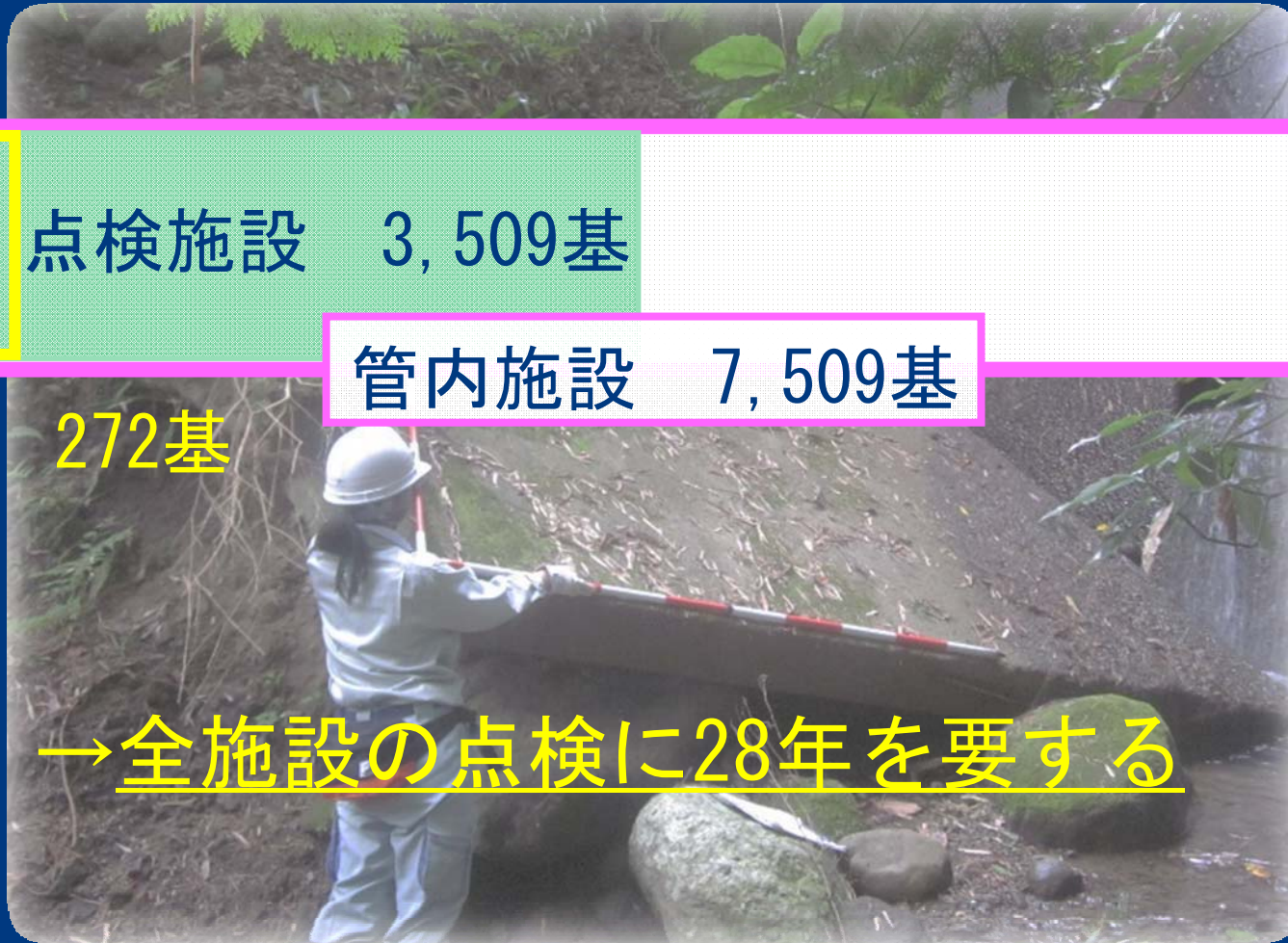
これまでの点検実績

点検施設 3,509基

管内施設 7,509基

年平均 272基

→全施設の点検に28年を要する



治山パトロールの課題

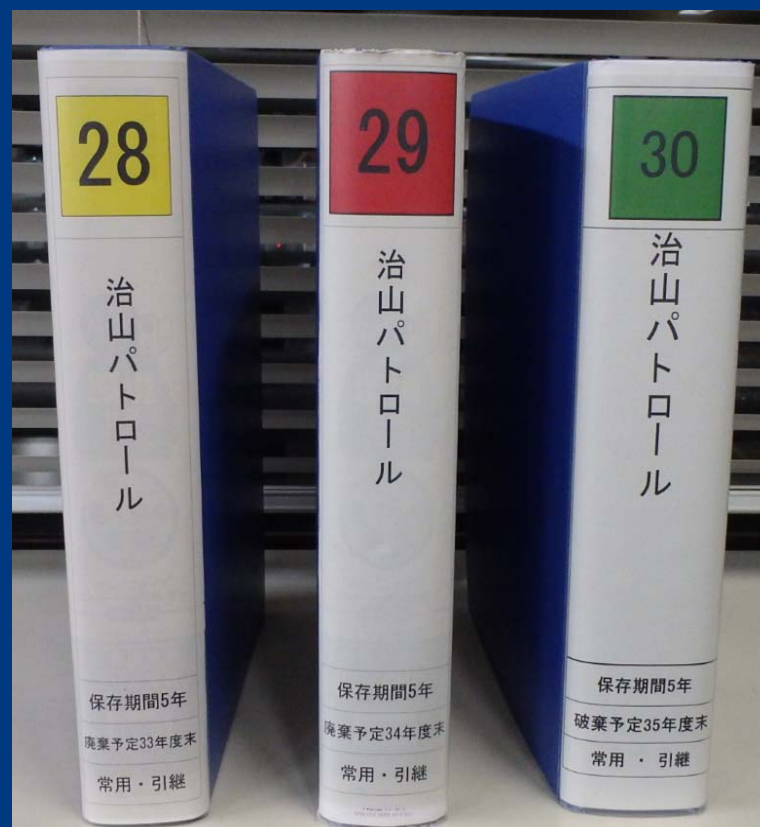
- ・ 点検施設の抽出に膨大な時間と手間が必要
- ・ 数年間に複数回点検される

【課題①】

点検結果が次期の点検に
活かされていない

【課題②】

抽出基準が曖昧
担当者の判断により抽出



治山パトロールの課題と改革

膨大な時間が必要

- 課題① 過去の点検結果が活かされていない
- 課題② 点検施設とする基準が曖昧

<改革>

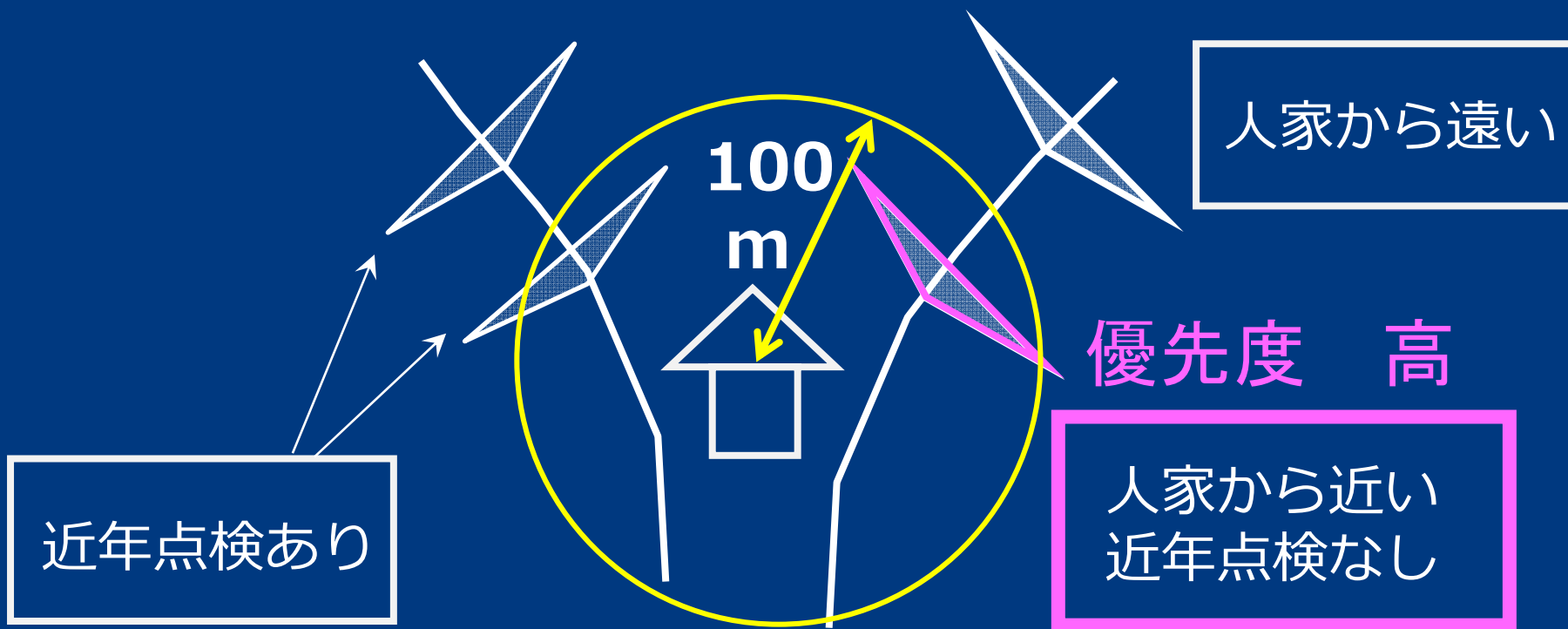
- ①優先度の高い施設から点検しよう！
- ②過去の点検結果を把握し、次の点検計画を立てよう！



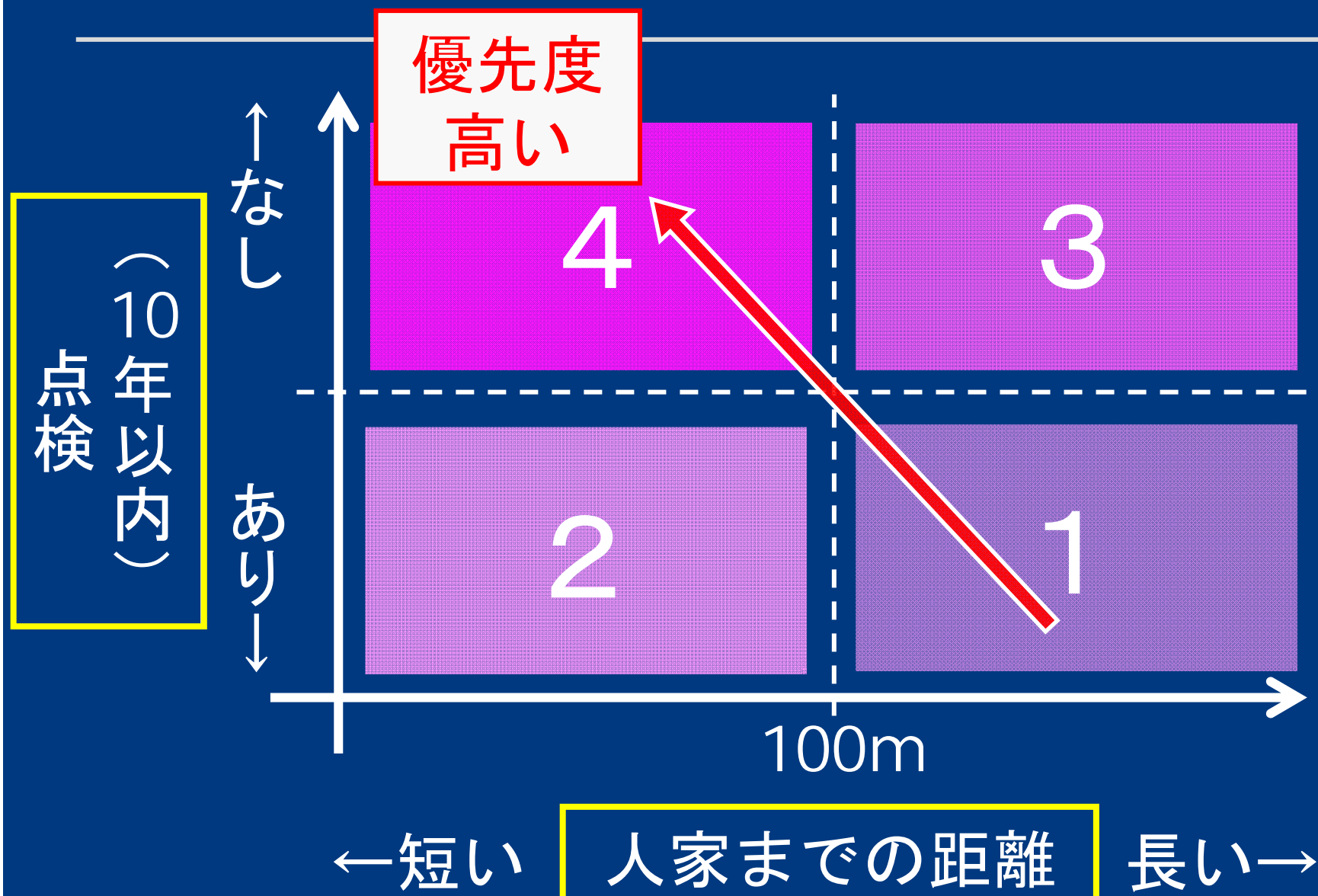
施設の維持管理に向けた 効率的な点検

改革①優先度の高い施設から点検

人家までの距離が近く、近年点検なし
↳ 森林GISから把握



点検優先度として数値化



改革②状況変化表の作成

過去の点検結果

点検優先度

No	工種	年度	治山 台帳 ID	2008	...	2017	2018	詳細	建物 までの 距離	最終 点検 年度	点検 優先度
				健全度		健全度	健全度				
1	谷止工	S53	353 -201 -015		...	Ⅲ		2017洗掘 W=5.0m H=0.5m	50	2017	2
2	谷止工	H13	413 -201 -022		...	緊急性高い施設			80	2002	4
3	土留工	H8	408 -201 -036	I	...		I		170	2018	1

ひとり一改革の成果

状況変化表により、
優先度の高い施設から点検できる！

<成果>

1 点検施設の抽出時間

900分短縮

2 短縮した時間で

工事の早期発注へ

御清聴ありがとうございました

